



ボリュームまたは**qtree**のストレージコンテナ を作成する

ONTAP 9

NetApp
December 20, 2024

目次

ボリュームまたはqtreeのストレージコンテナを作成する	1
ボリュームの作成	1
qtreeを作成する	2

ボリュームまたはqtreeのストレージコンテナを作成する

ボリュームの作成

コマンドを使用すると、ボリュームを作成し、ジャンクションポイントやその他のプロパティを指定できます `volume create`。

タスクの内容

クライアントがデータを使用できるようにするには、ボリュームに *junction path* を含める必要があります。ジャンクションパスは、新しいボリュームの作成時に指定できます。ジャンクションパスを指定せずにボリュームを作成する場合は、コマンドを使用して、SVMネームスペースでボリュームを `_mount_the` にする必要があります `volume mount`。

開始する前に

- SMBがセットアップされて実行されている必要があります。
- SVMのセキュリティ形式はNTFSである必要があります。
- ONTAP 9.13.1以降では、容量分析とアクティビティ追跡を有効にしてボリュームを作成できます。容量またはアクティビティの追跡を有効にするには、を指定してコマンドを `-analytics-state`` 実行する `volume create`` か、 `-activity-tracking-state`` に設定します ``on`。

容量分析とアクティビティ追跡の詳細については、を参照してください ["ファイルシステム分析を有効にする"](#)。

手順

1. ジャンクションポイントを設定してボリュームを作成します。 `volume create -vserver svm_name -volume volume_name -aggregate aggregate_name -size {integer[KB|MB|GB|TB|PB]} -security-style ntfs -junction-path junction_path]`

の選択肢は `-junction-path`` 次のとおりです。

- ルートの直下。例： `/new_vol`

新しいボリュームを作成し、SVMのルートボリュームに直接マウントされるように指定することができます。

- 既存のディレクトリの下（例： `/existing_dir/new_vol`

新しいボリュームを作成し、ディレクトリとして表現されている既存のボリューム（既存の階層内）にマウントされるように指定できます。

たとえば、新しいディレクトリ（新しいボリュームの下の新しい階層）にボリュームを作成する場合は `/new_dir/new_vol`、SVMのルートボリュームにジャンクションされている新しい親ボリュームを最初に作成する必要があります。その後、新しい親ボリューム（新しいディレクトリ）のジャンクションパスに新しい子ボリュームを作成します。

2. 目的のジャンクションポイントでボリュームが作成されたことを確認します。 `volume show -vserver`

```
svm_name -volume volume_name -junction
```

例

次のコマンドは、SVM vs1.example.com およびアグリゲート aggr1 上に、users1 という名前の新しいボリュームを作成します。新しいボリュームは、で使用でき `users` ます。ボリュームのサイズは750GBで、ボリュームギャランティのタイプはvolume（デフォルト）です。

```
cluster1::> volume create -vserver vs1.example.com -volume users
-aggregate aggr1 -size 750g -junction-path /users
[Job 1642] Job succeeded: Successful

cluster1::> volume show -vserver vs1.example.com -volume users -junction
                Junction
Vserver         Volume  Active  Junction Path  Junction
-----
vs1.example.com  users1  true    /users         RW_volume
```

次のコマンドでは、「home4」という名前の新しいボリュームをSVM「vs1.example.com」およびアグリゲート「aggr1」に作成します。ディレクトリは /eng/`vs1` SVMのネームスペース内にすでに存在し、新しいボリュームがで使用可能になります ` /eng/home。これがネームスペースのホームディレクトリになります。 /eng/`ボリュームのサイズは750GBで、ボリュームギャランティのタイプは（デフォルト）です `volume。

```
cluster1::> volume create -vserver vs1.example.com -volume home4
-aggregate aggr1 -size 750g -junction-path /eng/home
[Job 1642] Job succeeded: Successful

cluster1::> volume show -vserver vs1.example.com -volume home4 -junction
                Junction
Vserver         Volume  Active  Junction Path  Junction
-----
vs1.example.com  home4   true    /eng/home      RW_volume
```

qtreeを作成する

コマンドを使用すると、データを含むqtreeを作成し、そのプロパティを指定できます
volume qtree create。

開始する前に

- SVM と新しい qtree を格納するボリュームがすでに存在している必要があります。
- SVMのセキュリティ形式はNTFSであり、SMBがセットアップされて実行されている必要があります。

手順

1. qtreeを作成します。 volume qtree create -vserver vserver_name { -volume volume_name

```
-qtree qtree_name | -qtree-path qtree path } -security-style ntfs
```

ボリュームとqtreeを別々の引数として指定するか、の形式でqtreeパスの引数を指定できます
/vol/volume_name/_qtree_name。

2. 目的のジャンクションパスでqtreeが作成されたことを確認します。 volume qtree show -vserver vserver_name { -volume volume_name -qtree qtree_name | -qtree-path qtree path }

例

次の例は、ジャンクションパスがであるSVM vs1.example.com上に、qt01という名前のqtreeを作成し`/vol/data1`ます。

```
cluster1::> volume qtree create -vserver vs1.example.com -qtree-path  
/vol/data1/qt01 -security-style ntfs  
[Job 1642] Job succeeded: Successful
```

```
cluster1::> volume qtree show -vserver vs1.example.com -qtree-path  
/vol/data1/qt01
```

```
                Vserver Name: vs1.example.com  
                Volume Name: data1  
                Qtree Name: qt01  
Actual (Non-Junction) Qtree Path: /vol/data1/qt01  
                Security Style: ntfs  
                Oplock Mode: enable  
                Unix Permissions: ---rwxr-xr-x  
                Qtree Id: 2  
                Qtree Status: normal  
                Export Policy: default  
Is Export Policy Inherited: true
```

著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。